

JRC建築部の ~2018年 New Year ~

≪ 建築部部長：陳 萌 ≫ (2004年8月入社)



新年あけましておめでとうございます。
部長職に昇任となりまして、まだ一年経たず、日々の業務を片付けるのにほぼいっぱい、部長としてやらねばならないことが山積み状態です。自分がやらなくても良い業務を他人に頼めるように、部下を育てることが最優先になってきます。

年末年始の休みにはマネージャーの本を読むことから今年をスタートしたいと思います。

去年は自分の父親に続き、大好きなお祖母ちゃんも大往生となりました。父親と同世代の兄弟達、自分のいとこ達の住所がばらばらなので、お祖母ちゃんもいないしますます皆が集まらなくなると心配しました。ですから今年の旧正月には北京に帰り、みんなに実家に集まってもらって新年を迎えたと決めました。

自分にとっては17年ぶりの旧正月ですから、昔の家族団欒でのお正月を思い出すだけでも涙が出そうです。複雑な心境ですが、今年の旧正月を楽しみにしています。

今年は、部長としてもっと力を付けていきたいと思います。まず宅建業法が改正し建築士だけが取得出来る『既存住宅状況調査技術者』の資格を取得します。不動産取引でもいいサービスが出来るように力をつけます。またリフォームの需要が増えてくるため、よりいいサービスができるように対応していきます。



京都のお寺にて着物を着た娘

個人では、昨年家族で行った京都が大変気に入りましたので、今年もまた京都の他の地域や和歌山、沖縄など日本の色々なところに家族を連れて行きたいと思っています。

皆様、また一年間、よろしくお願ひ致します。

≪ 建築部設計監理課：清水 豪 ≫ (2011年3月入社)



あけましておめでとうございます。
昨年は私にとって特別な年となりました。
何故かと言うと勿論、甥の琢己が誕生した事です。1月で丁度一歳になりますがこの一年甥の成長速度に驚かされています。

フニャフニャの赤ちゃんだったのが子供らしい顔になり、感情があるのが分かる様になりました。ズリ這いを始めたと思ったら掘り立ちを始めたり、この一年姉が里帰りに来る機会が多かったので間近で成長を見守ることができました。今後も甥の成長が楽しみです。

また仕事では代表の栗城の自宅を建てる事ができました。
長屋で事務所を兼ねるという用途は、私が今までみた事のない建物で、耐震金物もピン工法、外部は外断熱仕様で内部は3種類の断熱材を使用致しました。更に自宅部分はZEHですので、仕様だけでもとても盛沢山な内容でした。

造っている時は本当に大変でしたがその分達成感を味わいましたし反省点もたくさんでましたので成長の糧としたいです。

因みに昨年は車を買って替えるという私の今までの人生で一番大きな買い物をしてしまいました。

欲しい車が決まった後は会長の栗城の教えを守り、一括で購入するために貯金を致しました。



目標を叶えた車！

そうして目当ての車を購入できた事は嬉しかったですし、少し背伸びをしなければ叶わない目標を達成するために計画をたてて行動に移す事がとても良い経験になりました。

今年も少し背伸びをした目標を達成しながら成長していきたいと思っております。

≪ 建築部工務課主任：大橋 幸一 ≫ (2010年1月入社)



去年の年末に栗城の昔からのご縁で、大手住宅メーカーさんからの築40年の耐震リフォーム工事を施工する事になりました。そこで新たな工事の段取りやデザイン、打合わせの方法を学ぶ機会がありました。

木造住宅の寿命は30年と言われていた一昔前と比べて今は最新の建築技術で、格段に住宅の耐用年数が伸びています。今回の工事は、住宅の骨組みだけを残し全て新しくする、スケルトンのリフォーム工事でした。解体時天井、床、壁のどこにも断熱材が入っていませんでしたが、省エネ対策も行き、隙間なく断熱材を敷き詰め高性能サッシを取り付けたことで、夏涼しく冬暖かい理想的な住宅になり、エアコンなどの電気代も節約出来るようになります。

これまでの中古住宅査定においては、土地や立地が何より重視されました。あくまで、個人的な見解ですが、これからは、車の自動運転技術が発達して、スマホで迎えにきてくれたり、タクシー代が安くなるなど、立地はそれほどマイナス要因にならず、【土地より住宅性能重視】へと価値の転換が起こるような気がします。

だからこそ新築住宅やリフォーム工事を希望するお客様は、きちんとした【構造図面】や【工事履歴】、【メンテナンス履歴】を保管し【省エネ対策】をしっかりと施工する工事業者を選ぶことが、何よりも重要となります。またこれらの資料がないと価値判断ができずに市場に流通できないなど厳しい評価を受けるかもしれません。

本年度の私の目標は、新築住宅の品質をさらに向上しながら、これからもマーケットが広がる中古住宅をJRCの新築ZEH住宅の性能までに近づけるように、建築知識や施工技術を高めていきたいと思っています。これから住宅購入をご検討するお客様に微力ながらも力になれるよう、知識と伝え方の勉強に邁進したいと思っています。

≪ 建築部工務課：藤原マリクシ 和 ≫ (2014年9月入社)



新年明けましておめでとうございます。
皆様のおかげで今年も無事に新しい年を迎えることができました。
JRC建築部工務課の藤原和です。
毎年一年経つのは早いなと思っていましたが、昨年は長く感じました。

家族と旅行に行ったり、いろんな人と出会ったり、昔の友達に久しぶりに会ったり、4年ぶりにフィリピンに帰ったりしたから長く感じたのかなと思います。本当に中身が濃い一年間でした。

今年は一年間の目標をしっかりと立てたいと思っていたので、昨年からずっと考えていました。

まずプライベートの目標と仕事の目標を分けて考えました。
仕事の目標は、自分は入社して4年目に入りましたが、出来る仕事の量が少ないと思っていますので、今年自分から積極的に『この仕事をやらせてください！』と言えるようになって、なおかつ任された仕事を完璧にやりたいと思っています。

去年任された仕事を終わらせて、『完璧です！』と報告したところ、『頼まれた事の一個先までやってはじめて完璧だよ』と言われた記憶がありますので、先を読んで仕事をやっていきたいと思っていますので今年もどうかよろしくお願いいたします！

プライベートの目標は、去年フィリピンに帰れて本当によかったと思いました。4年ぶりでしたが、見た事がない所も多くって、逆にまだこれ残っているのかと思う事も多かったのです。

一番印象に深く残った事は、町のきれいさと交通ルールがちゃんと守られてる事です。大統領が変わってフィリピンも変わりました。

だから毎年帰れるように頑張りたいと思っています。また、【20代で家を建てる】目標も叶える為にも精進します！